

会社の概要

商 号	JTラスト株式会社
資 本 金	536億35百万円
設 立	1977年3月
〒105-0001	
本 社 所 在 地	東京都港区虎ノ門1丁目7番12号 虎ノ門ファーストガーデン
電 話 番 号	03-4330-9100(代表)
事 業 内 容	ホールディング業務
連 結 従 業 員	2,713名

役員

代表取締役社長 最高執行役員	藤 澤 信 義
代表取締役専務 執行役員 韓国金融事業担当 兼 広報・IR部門担当	千 葉 信 育
専務取締役 執行役員 グローバルバンキング推進担当 兼 海外法務担当	足 立 伸
常務取締役 執行役員 東南アジア事業担当 兼 企画部門担当	浅 野 樹 美
常務取締役 執行役員 ホールディング業務担当 兼 グループ統括担当 兼 システム担当 兼 企画部門担当	明 珍 徹
取締役 執行役員 経理部長	常 陸 泰 司
取締役 執行役員 経営企画部部長 特命担当	黒 川 真
取締役 執行役員 経営企画部長 兼 法務部門担当	西 川 幸 宏
取締役 執行役員 人事総務部長	飯 森 義 英
取締役 執行役員 財務部長	熱 田 龍 一
取締役(社外)	五十嵐 紀 男
取締役(社外)	水 田 龍 二
取締役(社外)	金 子 正 憲
常勤監査役(社外)	山 根 秀 樹
常勤監査役	井 口 文 雄
監査役	井 上 允 人
監査役(社外)	小 島 高 明

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月開催
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料)
同連絡先	
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告とし、当社ウェブサイト(https://www.jt-corp.co.jp/)に掲載いたします。なお、事故その他やむを得ない事由により、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

- 【ご注意】
- 1.株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求、買増請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取扱いいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

JトラストIRアプリを利用して
IR情報を素早く入手!

J TRUST

ダウンロード

インストール

検索履歴

Jトラストの最新ニュースや
決算発表などの最新IR情報
をお届けするアプリです。

QRコード

QRコード

公式Facebookページを開設!

日本だけでなく、韓国や東南アジアのグループ会社の
様々な情報をお届けしています。

J TRUST

Jump Together!!

株式の状況

発行可能株式総数	240,000,000株
発行済株式の総数	112,579,370株
株 主 数	15,087名

大株主

株主名	株式数(株)	持株比率(%)
藤澤 信義	23,009,372	22.3
FUJISAWA PTE. LTD.	15,697,872	15.2
TAIYO HANEI FUND, L.P.	4,712,400	4.6
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505019	4,376,600	4.2
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	3,487,990	3.4
西京リース株式会社	2,890,000	2.8
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	2,618,430	2.5
TAIYO FUND, L.P.	1,986,100	1.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	1,808,700	1.8
小手川 隆	1,297,000	1.3

所有者別株式分布状況

所有者別	株式数(株)	持株比率(%)
個人・その他	47,786,410	46.4%
金融機関	3,784,300	3.7%
外国法人等	42,467,455	41.2%
金融商品取引業者	3,775,609	3.7%
その他の法人	5,167,364	5.0%

(注) 持株比率ならびに所有者別株式分布状況は、自己株式数(9,598,232株)を控除して算出しております。

株主の皆様へ

国内と韓国の金融事業は堅調、BJIは営業黒字が定着しつつあります

代表取締役社長

藤澤 信義

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2018年3月期中間期の営業利益は、41億円と前年同期の2億円と比べ大幅増益となりました。国内金融事業は、信用保証残高および買取請求債権残高が順調に増加しており、信用保証業務、債権回収業務ともに堅調です。また、韓国金融事業における貸出金残高は、増加傾向が続いており、貯蓄銀行の営業を開始した5年前と比べて約10倍となりました。銀行業における営業収益が増加し、韓国金融事業の営業利益は国内金融事業と同水準の24億円を計上するなど、当社グループの稼ぎ頭に成長しています。さらに、東南アジア金融事業の中核であるJTラスト銀行インドネシア(BJI)では、これまで進めてきた事業構造改革により基盤整備が進み、営業黒字が定着しつつあり、現在は成長に向けての攻めの戦略を展開しています。

投資事業においてJTラストアジアが転換社債と株式を保有している投資先の株価が10月に大幅に下落しており、今後の投資先の動向次第では当社グループの業績に影響を与える可能性もありますが、主力の金融事業が順調であることから、2018年3月期の連結業績予想については従来予想を据え置きました。また、東証1部への指定替えについては、引き続き重点項目として取り組んでおります。今後も、当社およびステークホルダーの利益の最大化を図るべく努力してまいりますので、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2018年3月期第1四半期から国際財務報告基準(IFRS)を任意適用しました

期待される主な効果は、経営の効率化と世界各国企業との比較容易化

当社グループにとってのメリット

アジア各国で事業展開している当社グループにとって、グループ内で会計基準を統一すれば、財務情報の作成が効率化されるほか、経営判断や投資判断の迅速化につながります。

また、IFRSの任意適用により、のれんの定期的な費用計上がなくなるため、M&A活動を実行しやすくなります。

株主・投資家にとってのメリット

IFRSで作成された財務情報(共通のモノサシ)を利用すれば、世界各国の企業との比較分析が容易になります。特に、海外投資家がIFRSを任意適用している企業を投資対象にする可能性があります。

ちなみに、日本取引所グループによれば、2017年11月6日時点でIFRSを任意適用している上場企業は139社となっています。

銀行業参入 5周年

アジアの未来を拓くバンキング・グループとして
ビジネスや暮らしを豊かにしていきます。

2012年10月に韓国において貯蓄銀行業の認可を取得し、JT親愛貯蓄銀行が営業を開始したほか、2015年にはJT貯蓄銀行を取得しました。この5年間で、韓国トップクラスの貯蓄銀行グループとなっています。

また、2014年11月にはインドネシアにおいてJトラスト銀行インドネシア(BJI)を取得しました。これまでに重複店舗の統廃合や人員削減、融資戦略の見直しなど抜本的な事業構造改革を行い、BJIの再建に目処をつけました。

Jトラストグループは、ビジネスや暮らしを豊かにする銀行サービスを提供することにより、アジアの発展に貢献し、ともに成長していきます。

韓国貯蓄銀行業：社会的評価の高まりとともに、韓国3位の貯蓄銀行グループに成長。

お客様満足度の高い商品の開発やブランディング、コンプライアンスの向上などに対する取り組みが高く評価され、JT親愛貯蓄銀行、JT貯蓄銀行を合計した総資産、貸出金残高はともに韓国で3位(2017年6月現在)の貯蓄銀行グループに成長しています。

JT親愛貯蓄銀行は、韓国消費者フォーラムが主管する「大韓民国ファーストブランド大賞」を2年連続受賞しています。これは、子どもたちに必要な費用をサポートする「ワンダフル子供未来ローン」や、地域の自営業者をサポートする「ワンダフルデイリーローン」などにより社会の発展に貢献していることが高く評価されたためです。

韓国の貯蓄銀行79行における資産規模ランキング (単位：億ウォン)

順位	本店場所	銀行名	総資産
1	ソウル	SBI	55,100
2	ソウル	OK	35,593
3位に相当	ソウル+京畿道	JT親愛+JT	28,616
3	京畿道	韓国投資	22,953
4	ソウル	HK	22,192
5	ソウル	JT親愛	20,814
23	京畿道	JT	7,802

韓国の貯蓄銀行79行における貸出金ランキング (単位：億ウォン)

順位	本店場所	銀行名	貸出金
1	ソウル	SBI	46,494
2	ソウル	OK	35,016
3位に相当	ソウル+京畿道	JT親愛+JT	23,497
3	京畿道	韓国投資	20,973
4	ソウル	HK	20,656
5	ソウル	JT親愛	16,499
22	京畿道	JT	6,998

インドネシア銀行業：成長に向けて攻めの戦略を展開。

BJIでは、多くのお客様にリテール銀行としてご利用いただけるよう、地方への出店を積極的に進めています。また、ジャカルタのイオンモール ジャカルタガーデンシティや、日系企業の多いカラワン工業団地などに店出し、BJIの独自性を打ち出すことで、他のローカル銀行との差別化を図っています。



イオンモールの店舗はラウンジ形式。お客様はリラックスしながら快適に銀行取引を行います。



JT親愛貯蓄銀行、創立5周年記念式典開催

2017年10月17日、JT親愛貯蓄銀行をご支援いただいている外部VIPの皆様をご招待し、創立5周年記念式典を開催しました。ユン・ビョンムク代表理事が5年間のご支援に対する感謝の辞を述べ、外部VIPからは今後の活動への期待のメッセージが寄せられました。



カラワン工業団地では、カフェ併設という他のローカル銀行にはない斬新な店舗を展開しています。

JトラストグループのCSR活動

Jトラストグループは、事業活動を通じて経済の発展に貢献するとともに、事業を行う地域社会の一員としての責任を果たすことで、より良い世界を創っていきます。

韓国での取り組み

JT親愛貯蓄銀行は、「地域社会において隣人と助け合うことは企業の重要な役割である」という考えのもと、社会的弱者の支援に取り組んでいます。2017年4月26日には、ソウル市内の炊き出しボランティア活動に役職員20名が参加し、ホームレスや独居老人など1,000名の方々の食事の準備、配膳、皿洗いなどと寄付を行いました。



炊き出しボランティアの様子



お餅作り分け合い行事の様子

また、2017年9月26日には、ソウル市郊外の城南市で開催されたJトラストグループお餅作り分け合い行事に役職員37名が参加し、お餅作り、お弁当の配達などを行いました。

インドネシアでの取り組み

BJIでは、文化交流による日本とインドネシアの相互理解促進を図っています。

BJIは、日本とインドネシアの民間ボランティアが開催する日本の食と文化の祭りである縁日祭をメインスポンサーとして支援しています。2017年5月13日・14日の縁日祭には、約30万人が集まり、神輿の練り歩きや、和太鼓の演奏が披露されました。



縁日祭の様子

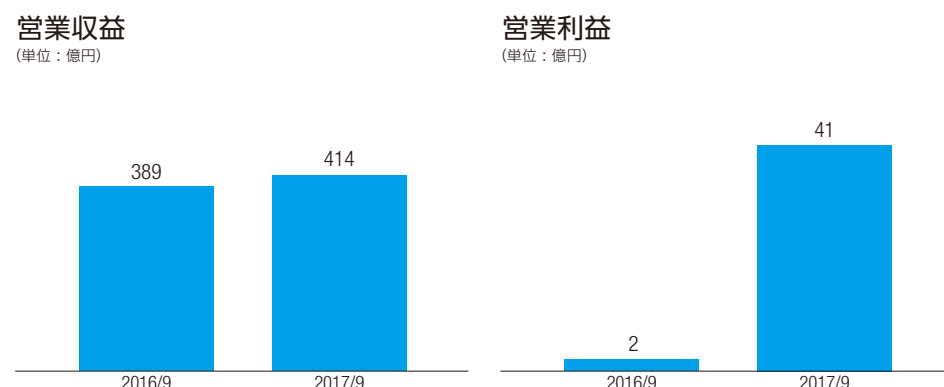
また、2017年のラマダン(断食)明けとなる6月15日には、Al-Ijtihad財団の孤児100名に向けたラマダン明け食事を開催。BJIの役員と子どもたちの食事、集団礼拝、寄付金の贈呈などが行われました。



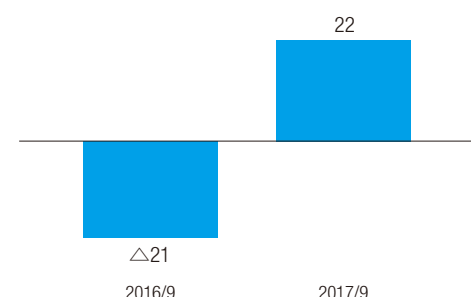
断食明け食事会の様子

業績ハイライト (2018年3月期第2四半期累計)

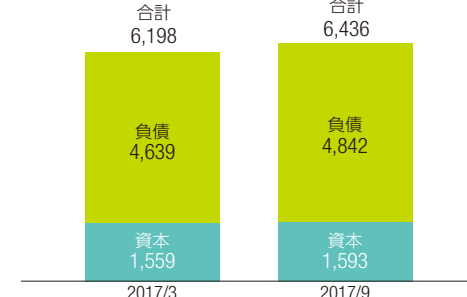
営業収益は、韓国の銀行業における営業収益の増加等により前年同期比6%増収の414億円。営業利益は、BJIの黒字転換に加え、韓国の金融事業が好調であったこと等により大幅増益の41億円となった(前年同期は2億円の利益)。親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期の為替差損等による21億円の損失から大幅に改善し、22億円の利益となった。



親会社の所有者に帰属する四半期利益(損失)
(単位：億円)



負債資本合計
(単位：億円)



営業収益構成比(2018年3月期中間期)
(単位：%)

